



○計画概要

2004年より開始された、欧州の高等教育の質を高めることを目的とした、高等教育分野における教育機関の連携と、学生・研究者の交流を促進するための計画。現在は第2期目(2009-2013)。

○予算規模

第1期(2004-2008):5年間の予算は、約2億3千万ユーロ
 第2期(2009-2013):5年間の予算は、約4億9千万ユーロ

○3つのアクション

アクション1:エラスムス・ムンデウス修士・博士課程プログラム(奨学金含む)

- ▶ 少なくとも3つのEUの高等教育機関がコンソーシアムを形成し、卓越した学術水準の共同プログラムを企画・実施。
- ▶ 参加者は、少なくとも2つの教育機関で学修・研究機関を過ごした後、同時に複数の機関からダブル・ディグリーやジョイント・ディグリーを取得可能。

アクション2:EU域外の高等教育機関とのエラスムス・ムンドゥス・パートナーシップ(奨学金含む)

- ▶ コンソーシアムという形でEU域内と域外の高等教育機関がパートナーシップを形成し、博士課程の学生や研究者の交流を促進。
- ▶ コンソーシアムには、少なくとも3つのEU加盟国の最低5つの高等教育機関と、EU域外の複数の高等教育機関が含まなければならない。

アクション3:世界におけるEUの高等教育の魅力向上

- ▶ 世界レベルでの教育目標の達成と卓越した拠点として欧州の高等教育機関の魅力を高めるプロジェクトの実施。
- ▶ 学位の承認、資格の相互承認、カリキュラムや流動性の向上などの高等教育のすべての側面において国際的な次元でのレベルの高い活動を提供。

○修士コースに選抜された学生数の推移

2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	総計
140名	808名	1,377名	1,825名	2,031名	1,795名	2,141名	1,917名	1,923名	1,966名	13,957名

エラスムス・ムンドゥスに参画している日本の大学

第1期(2004－2008)

東京大学 (Spacemaster, EMMSP-Photonics)、京都大学、山梨大学 (PaMaSelf)、
法政大学 (Phil-AF)、桜美林大学 (HEEM)、大阪大学 (EURO CULTURE)、
慶応大学 (EMARO) ※括弧内は連携コンソーシアム名

第2期(2009－2013)

アクション1: エラスムス・ムンドゥス修士・博士課程プログラム

2009年～ 大阪大学 (EMELE, MAPNET)、東京大学大学院理学系研究科・理学部
(SpaceMaster)、早稲田大学 (GEM)

2010年～ 筑波大学 (FloodR)、早稲田大学 (MIND)、九州大学 (DocMASE)、東京大
学 (EDEEM)

2011年～ 大阪大学 (EURCULT)、法政大学 (EuroPhi)、筑波大学 (EDAMUS)、九州
大学 (FUSION-DC)

アクション2: EU域外の高等教育機関とのエラスムス・ムンドゥス・パートナーシップ

2010年～ 岡山大学、早稲田大学、慶応大学、東京工業大学 (EM-BEAM)

2011年～ 千葉大学、東京大学、九州大学 (AUSMIP+)

2012年～ 愛媛大学 (NESSIE)

2013年～ 岡山大学、早稲田大学、慶応大学、東京工業大学 (EM-EASED)

※括弧内は連携コンソーシアム名